

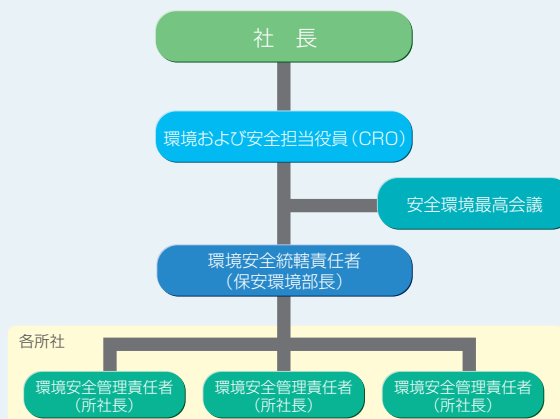
## 環境管理体制

### 組織

当社の安全環境に関する最重要事項を審議する場として、環境および安全衛生最高責任者を議長とし、各事業ラインの長をメンバーとする「安全環境最高会議」が設けられております。

本会議において審議・決定された方針や行動計画は、環境および安全担当役員の指揮の下、環境安全統轄責任者（保安環境部長）によって三井金属グループ各所社への展開が図られます。

#### 三井金属グループ環境管理体制組織



2007年6月28日より取締役 兼 常務執行役員 兼 CRO（最高危機管理責任者）兼 環境および安全衛生最高責任者に就任しました城後でございます。環境と安全衛生は経営の最優先課題であり、環境保全と環境負荷低減は企業の使命として、今後も目標を高く掲げて積極的に取り組んでまいります。



取締役 兼 常務執行役員 兼 CRO（最高危機管理責任者）  
城後 知明

### 環境管理への投資と経費

三井金属グループでは、環境への影響の予防、負荷低減のために必要な経営資源の投入を行っております。

環境管理のための経費として、生産活動で発生する廃棄物の処理委託費用は、ほぼ昨年と同じ金額で推移しております。

環境関連の投資として、公害防止のための設備の新規導入、改良、更新などを継続して実施しております。2005～2006年度は神岡鉱業で発生した重油流出事故を二度と起こさないために、グループ全所社において、大型環境投資や薬液、油類等の外部への漏洩を防止するための設備対策強化を行ったことにより、投資金額が増加しております。

環境管理経費額（単位:億円）	2005年度	2006年度
廃棄物処理委託費用	11.7	11.4
エネルギー費用	5.0	6.1
保修繕費用	3.6	3.9
その他費用（労務費、物品費など）	24.7	21.9
環境管理経費 計	45.0	43.3

#### 環境関連投資の推移（2003年度分～2006年度分）

